

第124回秋季講演大会アンケート調査結果の報告

講演大会分科会では、第124回秋季講演大会(平成4年10月6日～8日於：富山大学)の際、講演大会の円滑な運営を図る一方策として、参加者の方々にアンケート調査を実施致しました。その結果、748名の方より大変貴重なご意見をいただき、大変有り難く厚くお礼申し上げます。

この度、調査結果を以下のようにまとめましたので、会員の皆様にご報告申し上げます。

この調査にご協力いただいた方々の内、約88%が会員で、30代・40代が半数以上、また企業(研究所含む)に勤務しておられる方が80%以上を占め、講演大会での発表は50%以上の方が経験しています。(添付アンケート集計結果参照)

①運営方法

90%近くが現状の講演分類、開催地(春季：関東、秋季：地方7支部持回り)、3日間の開催日程等を妥当と回答しています。その反面、開催地への交通及び宿泊所の確保、発表会場間の距離、昼食時の混雑、会場の狭さに不便を感じるという意見がありました。また、春季も地方での開催を希望する意見が比較的多くありました。

②講演大会概要集『材料とプロセス』

プログラムのレイアウト・活字については、70%以上が現状に満足ようです。しかしながら、現状の3分冊をさらに細分化し、該当分野のみ購入可能な予約制度の設定を希望する意見もありました。第125回春季講演大会(平成5年春)概要集より表紙及びサイズを改訂することに伴い、プログラム掲載方法の工夫、講演者索引の添付等を考慮し、利用しやすいの検討を行っていく予定です。

③発表時OHPのみの使用

OHPのみの使用に対処可能との回答を90%の方より得ました。従いまして、運営の効率化を図るためにも、平成5年秋季大会からOHPの使用を原則と致します。ご協力下さいますようお願い致します。

④金属学会との同時開催

出張の頻度、聴講の都合等で現状のような同時開催を希望する声が約半数でした。講演発表件数及び聴講者数から、両会の同時開催には今後かなり支障が生じると予想されますが、当面は基盤技術・未来技術等について合同セッションを開催することにより、現状維持に努力致します。

⑤まとめ

その他、発表時間と配分、討論会、申込方法を含め、全般的にほとんどの参加者が現状の講演大会に満足しているようです。

改善を希望する意見を検討し、その中から、

- ・『材料とプロセス』掲載のプログラム改訂及び講演者索引の添付
- ・各講演会場入口にプログラム掲示
- ・OHPのみの使用(平成5年秋季より)
- ・発表講演の制限(現状は3件以内を平成5年秋季より1件)

について、できるだけ早急に対処し、参加者の便宜及び大会の活性化、運営の効率化を図ることに致しました。また、春季の地方開催、『材料とプロセス』の細分冊化と予約制度に関しては、今後の課題とし、検討を行う予定です。

以上の結果を考慮し、講演大会分科会では、会員の方々にとって、講演大会が研究成果発表・意見交換・聴講の場として、さらに高い利用価値をもつよう種々試行を重ねてまいります。今後もより良い運営のために、参加者である会員の皆様にご協力いただきたくどうぞよろしくお願い致します。

(講演大会分科会)

アンケート集計結果(回収数 748件)

1. あなたは本会の

1. 会員	659人(88.1%)
2. 非会員	84人(11.2%)
0. 無回答	5人(0.7%)
年齢 10代	2人(0.3%)
20代	154人(20.6%)
30代	197人(26.4%)
40代	182人(24.3%)
50代	80人(10.7%)
60代	12人(1.6%)
70代	1人(0.1%)
無回答	120人(16.0%)

2. 勤務先は、

1. 大学	82人(11.0%)
2. 官公庁	22人(2.9%)
3. 企業	373人(49.9%)
4. 企業(研究所勤務)	260人(34.7%)
5. その他	8人(1.1%)
6. 無回答	3人(0.4%)

3. 今講演大会では、

1. 発表した	390人(52.1%)
2. 聴講のみ	347人(46.4%)
3. 無回答	11人(1.5%)

4. 現行の講演大会の運営方法についてお尋ねします。

- ★講演分類のしかた
- | | |
|------------|-------------|
| 1. よい | 603人(80.6%) |
| 2. 改善の余地あり | 94人(12.6%) |
| 3. 無回答 | 51人(6.8%) |
- ★開催地(春季：関東、秋季：地方[7支部持回り])
- | | |
|------------|-------------|
| 1. よい | 647人(86.5%) |
| 2. 改善の余地あり | 80人(10.7%) |
| 3. 無回答 | 21人(2.8%) |
- ★日程(3日間)
- | | |
|------------|-------------|
| 1. よい | 679人(90.8%) |
| 2. 改善の余地あり | 50人(6.7%) |
| 3. 無回答 | 19人(2.5%) |
- ★講演大会で不便を感じることがあればお書きください。
- | | |
|-----|-------------|
| 無回答 | 541人(72.3%) |
|-----|-------------|
5. 講演プログラムについてお尋ねします。
- ★掲載のしかた
- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1. 現状のまま(分野ごとに日々順、会場順)でよい | 548人(73.3%) |
| 2. 予稿集の分冊ごとに日々順、会場順がよい | 127人(17.0%) |
| 3. その他 | 28人(3.7%) |
| 4. 無回答 | 45人(6.0%) |
- ★活字、レイアウト
- | | |
|---------|-------------|
| 1. 見やすい | 577人(77.2%) |
| 2. 見にくい | 96人(12.9%) |
| 3. 無回答 | 74人(9.9%) |
- ★その他講演プログラムについてご意見があればお書きください。
- | | |
|-----|-------------|
| 無回答 | 724人(96.8%) |
|-----|-------------|
6. 平成5年(第125回)講演大会より講演大会論文集「材料とプロセス」はA4版になります。「材料とプロセス」についてお尋ねします。
- ★本会会員を対象とする予約購入制度を
- | | |
|------------|-------------|
| 1. 利用している | 424人(56.7%) |
| 2. 利用していない | 255人(34.1%) |
| 3. 知らなかった | 52人(7.0%) |
| 4. 無回答 | 17人(2.2%) |
- ★分野の分けかた
- | | |
|------------------|-------------|
| 1. 現状のまま(3分冊)でよい | 614人(82.1%) |
| 2. よくない | 56人(7.5%) |
| 3. 無回答 | 78人(10.4%) |
- ★その他「材料とプロセス」についてご意見があればお書きください。
- | | |
|-----|-------------|
| 無回答 | 706人(94.4%) |
|-----|-------------|
7. 将来、講演の発表はOHPのみの使用に限定する方向で考えています。OHP、スライドの使用についてお尋ねします。
- | | |
|----------------|-------------|
| 1. OHPのみで対応できる | 616人(82.4%) |
| 2. スライドも必要 | 101人(13.5%) |
| 3. 無回答 | 31人(4.1%) |
8. 講演発表時間およびその配分についてお尋ねします。
- | | |
|------------------------------|-------------|
| 1. 現状のまま(発表15分、質疑応答・討論5分)でよい | 673人(90.0%) |
| 2. 変更したほうがよい | 50人(6.7%) |
| 3. 無回答 | 25人(3.3%) |
9. 講演発表件数・聴講者数の増加が著しいため、今後は日本金属学会との同時開催が困難になると考えられます。
- ★あなたの聴講の割合は
- | | |
|--------|-----------|
| 1～9% | 2人(0.3%) |
| 10～19% | 8人(1.1%) |
| 20～29% | 6人(0.8%) |
| 30～39% | 16人(2.1%) |
| 40～49% | 3人(0.4%) |
| 50～59% | 38人(5.1%) |
| 60～69% | 17人(2.3%) |
| 70～79% | 30人(4.0%) |
- | | |
|--------|-------------|
| 80～89% | 47人(6.3%) |
| 90～99% | 75人(10.0%) |
| 100% | 416人(55.6%) |
| 0%・無回答 | 90人(12.0%) |
- ★両会の開催日程について
- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1. 同時同一会場開催でない困る | 105人(14.0%) |
| 2. 同時開催で会場が少し離れていてもよい | 83人(11.1%) |
| 3. 同一会場で日程はずれてよい(合わせて5～6日) | 86人(11.5%) |
| 4. 分離開催でかまわない | 359人(48.0%) |
| 5. 無回答 | 115人(15.4%) |
- ★両会が共催するにふさわしい合同セッションの具体的なテーマを挙げてください。
- | | |
|-----|-------------|
| 無回答 | 678人(90.6%) |
|-----|-------------|
10. 討論会についてお尋ねします。
- ★参加したことがありますか。
- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 発表したことがある | 172人(23.0%) |
| 2. 聴講したことがある | 352人(47.1%) |
| 3. 参加したことはない | 136人(18.1%) |
| 4. 無回答 | 88人(11.8%) |
- ★テーマは適当ですか。
- | | |
|--------|-------------|
| 1. 適当 | 501人(67.0%) |
| 2. 不適当 | 31人(4.1%) |
| 3. 無回答 | 216人(28.9%) |
- ★運営方法は
- | | |
|--------|-------------|
| 1. よい | 426人(57.0%) |
| 2. 悪い | 80人(10.6%) |
| 3. 無回答 | 242人(32.4%) |
11. ポスターセッションについてお尋ねします。
- | | |
|------------|-------------|
| 1. 開催を希望する | 133人(17.8%) |
| 2. 不要 | 400人(53.5%) |
| 3. 無回答 | 215人(28.7%) |
12. 講演申込方法についてお尋ねします。
- ★申込期日(締切日)
- | | |
|---------------------------|-------------|
| 1. 現状のまま(講演大会のおよそ3か月前)でよい | 452人(60.4%) |
| 2. もっと遅らせてほしい | 145人(19.4%) |
| 3. 無回答 | 151人(20.2%) |
- ★将来OA化が進み、電子メール等での受付、フロッピーディスクでの原稿提出が採用されたら
- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 対応できる | 497人(66.5%) |
| 2. 対応できない | 96人(12.8%) |
| 3. 無回答 | 155人(20.7%) |
13. 現在、講演索引は前年度の春秋講演大会の講演をまとめて翌年の春季大会「材料とプロセス」に掲載しております。講演索引についてお尋ねします。
- ★講演索引があることを
- | | |
|-----------|-------------|
| 1. 知っていた | 374人(50.0%) |
| 2. 知らなかった | 273人(36.5%) |
| 3. 無回答 | 101人(13.5%) |
- ★講演索引を
- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 利用したことがある | 222人(29.7%) |
| 2. 利用したことはない | 314人(42.0%) |
| 3. 今後利用したい | 92人(12.3%) |
| 4. 無回答 | 120人(16.0%) |
- ★講演索引は
- | | |
|--------------------------------|-------------|
| 1. 「鉄と鋼」12月号に年間索引と同時に掲載したほうがよい | 341人(45.6%) |
| 2. 現状のままでよい | 187人(25.0%) |
| 3. なくてもよい | 59人(7.9%) |
| 4. 無回答 | 161人(21.5%) |
14. その他 本会に対してのご意見、ご要望をご自由にお書きください。
- | | |
|-----|-------------|
| 無回答 | 704人(94.1%) |
|-----|-------------|